



東北鉄道協会における平成26年度の活動報告 ～東北の鉄道を元気にする取り組み と技術力共有化事業等～

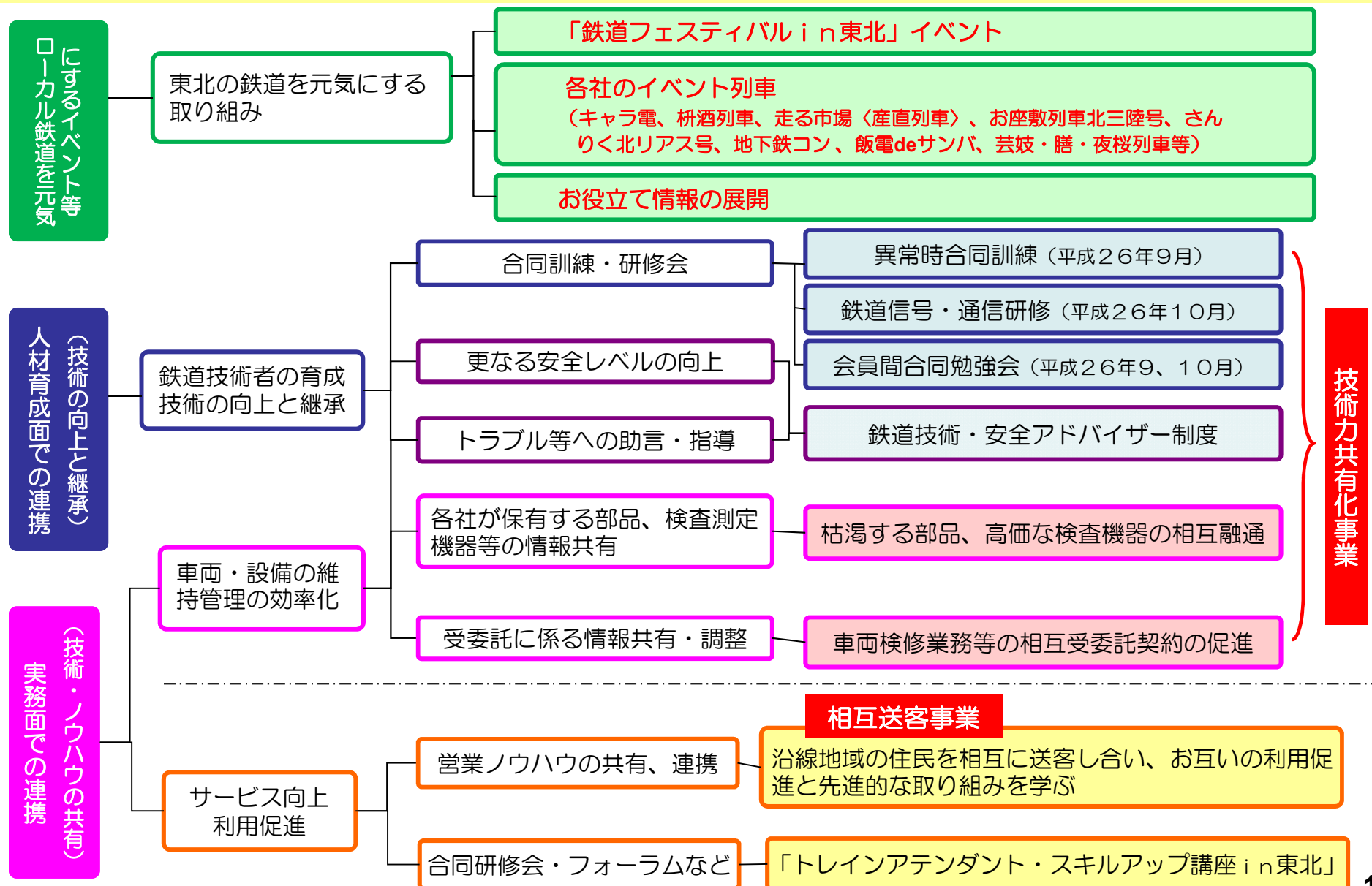
平成27年3月31日

国土交通省東北運輸局・東北鉄道協会

1. 東北鉄道協会が推進してきた「中小鉄道事業者連携プロジェクト（技術力共有化事業と相互送客事業）」は、平成21年10月、我が国の鉄道の発展に貢献した取り組みと評価され、「日本鉄道賞 地方鉄道技術連携賞」を受賞しました。
2. また、東日本大震災以降、東北鉄道協会が中心となって進めてきた「東北ローカル線 復興支援キャンペーン」は、平成23年10月、「日本鉄道賞 表彰選考委員会特別賞」を受賞しました。
3. 東北運輸局及び東北鉄道協会では、こうした中小鉄道事業者が連携した取り組みを平成20年度より毎年度毎にとりまとめ公表しています。過去の資料は、国土交通省東北運輸局のホームページ「分野別情報の鉄道」をご覧ください。

平成26年度における東北鉄道協会の取り組み（ねらいと全体像）

東北鉄道協会（民鉄・三セク鉄道事業者等19者で構成：会長 澤田長二郎 津軽鉄道代表取締役社長）では、**安全性の向上並びに東北の鉄道を元気に利用客の減少などの課題を克服**するため、**鉄道事業者間の連携**による幾つもの取り組みを推進しています。



東北の鉄道を元気にする取り組み（鉄道フェスティバル in 東北！！）

これまで沿線自治体やNPOと連携しながら、地域の生活に不可欠な生活の足として、或いは、観光客の誘客やおもてなしに力を注いできた東北のローカル線は、「鉄道フェスティバルin東北」を始とする様々なイベントを通じて、東北のローカル鉄道を元気にする取り組みを実施しています。

鉄道フェスティバルin東北

1. 開催日時

平成26年10月5日（日）

2. 開催場所

JR貨物/仙台貨物ターミナル駅

3. 主催者

東北地区「鉄道の日」実行委員会（東北鉄道協会も加盟）

4. イベントの内容

恒例の「鉄道フェスティバル in 東北」において、東北の各鉄道会社による鉄道グッズや沿線物産品の販売、本物の電気機関車やNゲージの展示のほか、各鉄道事業者のかわいいキャラクターが一同に集う「ゆるキャラショー」、ミニSLやミニEH500の乗車コーナーや、会場内でのスタンプラリー等を実施、1万8000人が来場し、鉄道ファンや家族連れを中心に大盛況でした。



イベントリーフレット



オープニングセレモニー



子供達に人気の「ゆるキャラショー」



会場内の様子



≡二FH500乗車コーナー

東北の鉄道を元気にする取り組み（イベント列車！！）

その1

弘南鉄道のイベント列車

■「キャラ電」（平成26年8月31日運行）

弘南線で沿線市町村のゆるキャラ達とふれあう「キャラ電」を運転。11体のゆるキャラたちが集合し、車内でのほか、田んぼアート駅周辺のレクリエーション広場でご当地クイズなどを楽しむ。



キャラ電 「ラッセル君」



ゆるキャラとのふれあい

■「枡酒列車」（平成26年9月26日運行）

枡製造の全国シェア8割を誇る大垣市の「(有)大橋量器」と地元酒造メーカー「(株)鳴海醸造店」と和風レストラン「御幸」の3社とタイアップし、青森県産にこだわった料理と特製の枡で津軽の地酒を味わえる列車の旅を楽しむ企画。

74名のお客様にご参加をいただき、約2時間大盛り上がりでした。



その2

青い森鉄道のイベント列車

■走る市場〈産直列車〉 青い森鉄道 あおてつマルシェ

※定期列車内で、地元農家や商店の方々の協力を得て、列車に産直品販売隊として乗車し車内販売を行い、駅周辺の観光・イベントを体験するスペシャル列車として運行しています。

野菜収穫と畑レストランツアー

（平成26年10月23日 目時駅）

野菜の収穫体験、収穫した野菜をその場でおいしい野菜料理に調理＆ランチを楽しむ。



歌声列車と駅前食べ歩きツアー

（平成26年11月15日 野辺地駅）

車内で生演奏をバックにみんなで歌声！駅前食堂を食べ歩き。



クリスマスファンタジアツアー

（平成26年12月23日）

列車がXmasトレインに、列車内でバトンチームによるスペシャルパフォーマンズやXmasケーキプレゼント。



温泉巡りとうまいランチツアー

（平成27年1月18日 浅虫温泉駅）

・上北町・三沢駅）
浅虫温泉や青森屋などが沿線に並ぶエリアで温泉三昧と美味しいランチを堪能。



三沢スカイプラザアメリカンランチツアー

（平成27年2月8日 三沢駅）

三沢米軍基地前の人気スポット「三沢スカイプラザ」。アメリカン気分たっぷりのお買物やランチを楽しむ。



東北の鉄道を元気にする取り組み（イベント列車！！）

その3

三陸鉄道のイベント列車

- お座敷列車北三陸号(平成26年4月26日～10月12日の土休日中心に運行)

全線運転再開にともない久慈～宮古間を春から秋の観光シーズンに運転。車両も新たに導入された新型お座敷車両「さんりくはまかぜ」を使用。

海鮮弁当の予約販売や海女のスタイルのアテンダント乗務など。



- さんりく北リアス号(平成26年8月8日～17日運行)

北リアス線からJR山田線へ直通する列車を運転。三陸鉄道車両とJR車両の相互乗入れで夏休みの多客対応を行いました。



山田線を走る三鉄車両



三鉄を走るJR車両

- こたつ列車(平成26年12月6日～平成27年3月29日の土休日中心の運行)

冬の定番となっているイベント列車。お座敷列車の座席をこたつにして運転。

海鮮弁当の予約販売や車内でなもみ(秋田のなまはげと同様の岩手県北沿岸の小正月行事)が登場する車内イベントなどを実施。



- 花見カキ列車(平成26年4月24日 運行)

宮古特産の花見カキをホームで焼いてお座敷列車内に持ち込んで味わう企画。

- アサヒスーパードライ号(平成26年7月4日,5日,11日,12日 運行)

アサヒビール主催によりアサヒスーパードライ飲み放題の列車を南北リアス線で運転。

- ランチ&スイーツ列車(平成26年12月20日,21日,23日、平成27年1月3日,4日 運行)

南リアス線でレトロ列車を使用して車内で往路にランチ、復路にスイーツを楽しめる企画を実施。

- クリスマス列車(平成26年12月18日 運行)

北リアス線でレトロ列車を使用してクリスマスパーティーを実施。

- 初日の出号(平成27年1月1日 運行)

南北リアス線で初日の出を見る列車を運転。北リアス線では神社への参拝も行いました。

その4

仙台市地下鉄南北線のイベント列車

- 婚活応援イベント「地下鉄コン2015」～せんだいスマイルトレイン秋のはびねす号(平成26年11月22日運行)
臨時運行した「はびねす号」に、一般から募集した参加者60名を乗せ、車内でゲームを楽しんでもらいながら、素敵な出会いを見つけてもらおうというイベントを昨年に引き続き今年も開催しました。



地下鉄コン「はびねす号」の車内の様子

- せんだいスマイルトレイン2015

平成27年3月7日～24日まで、“地下鉄に乗って、もっと笑顔に”をテーマに写真を募集し、入賞作品を中吊りポスターにした「せんだいスマイルトレイン」を運行。



グランプリ「ニッコリ」のポスター

東北の鉄道を元気にする取り組み（イベント列車！！）

その5

福島交通飯坂線のイベント列車

■飯電deサンバ

平成26年6月28日福島プレDCイベントにあわせ、当日福島駅前と飯坂温泉街でサンバショーを繰り広げるダンスチーム「アレグリア」が貸切電車に乗車。招待者と車内でサンバパーティーを開催。

途中の桜水車庫では軽食とワインパーティー、飯坂太鼓の演奏や民謡ショーなどを開催。

ダンスチーム
「アレグリア」→



■飯坂電車貸切ConVinWine2014

平成26年8月31日貸切電車で福島を出発し、車内でウェルカムワイン。桜水車庫では福島ゆかりの各種ワインと地元食材を使った美味しい料理、音楽ライブを楽しみ、さらに貸切電車で飯坂温泉へ向かい、最後は温泉を楽しむ。

ConVinWine列車を
バックに音楽ライブ
の様子 →



その6

会津鉄道のイベント列車

■芸妓・膳・夜桜列車

平成26年4月20日、9月9日お座敷列車で、会津を代表する東山芸妓と会津漆器に盛り付けられた郷土料理と地酒のおもてなし。



■ウェディングトレイン

平成26年6月14日車内を装飾し、新郎の両親、親戚、知人による披露宴。



■サンタ列車

平成26年12月23日車内を装飾し、ビンゴゲームや折り紙、サンタクロースによるプレゼントを、地元の園児に大人気です。



■お花見列車

平成26年4月19、26日お座敷列車で、車窓から夜桜を見ながら地酒を堪能し、楽しいひと時を過ごします。



■冷えひえビール列車

平成26年8月9、30日、9月6、13日走るビアガーデンとして運行、車内でじゃんけん大会で盛り上がります。



■ほろ酔い列車

平成27年1月17、24日、2月7、14、21、28、3月7日お座敷列車で地酒と新鮮な肴をご提供いたします。じゃんけん大会で盛り上がります。



（各事業者で実施された主なイベント列車を紹介）

東北の鉄道を元気にする取り組み（お役立て情報の展開）

東北鉄道協会から各地域鉄道事業者へ周知

観光庁等で行っている施策等について、鉄道事業者が知っていれば、うまく使う手立てがあるかもしれないことから、東北運輸局企画観光部様のご協力の下、色々な地域活性化に向けた取組について情報をいただき、各地域鉄道事業者へ情報発信を行っている。

今回は、東北運輸局主催で「観光案内人材の育成に関する研修会」を開催することになり、主な対象者としては観光案内所の観光案内業務を行っている方となっておりますが、担当（東北運輸局企画観光部）に確認しましたところ、鉄道会社のアテンダントの方や駅で観光案内に携わる機会の多い方でも参加できるということで、日頃、鉄道を利用する方々への観光案内業務に関わる機会も多いことから、こうした機会を活用してキャリアアップを図り、さらなるサービス向上につなげていくために、各地域鉄道事業者へ幅広く情報展開を行いました。

- 八戸会場/26年12月11～12日 青い森鉄道から3名参加
- 栗原会場/27年 1月28～29日 由利高原鉄道から1名参加

東北地域における観光復興促進事業
「観光案内人材の育成に関する研修会～域内連携の促進に向けて」
開催のご案内

～開催概要～

1. 開催日時・開催地・定員

- 第1回 平成26年12月11日（木）13:00～12日（金）12:00
広域観光・地方都市タイプ「広域観光拠点における域内連携の進め方」（於：青森県八戸市）定員：40名
- 第2回 平成27年1月15日（木）13:30～16日（金）12:00
地域内外との協働タイプ「町内・町外の人材活用による域内連携の進め方」（於：宮城県南三陸町）定員：40名
- 第3回 平成27年1月28日（水）13:30～29日（木）12:00
官民ゆるやかな連携タイプ「自立的な組織同士のゆるやかな連携のあり方」（於：宮城県栗原市）定員：40名

2. 主な対象者

観光案内所を運営する組織（観光協会、自治体など）の担当者および
観光案内所の観光案内業務担当者（職歴が5年程度以上で、案内所で中核となっている人材）

- #### 3. 参加費
- 無料

2014.11.6 JTB総研

八戸会場のプログラム

地域観光案内人と地域内関係者との連携促進研修（域内連携研修）
～プログラム（案）

第1回 広域観光・地方都市タイプ		開催日：平成26年12月11日（木） ※現地プログラム体験日：12月12日（金） 開催地：青森県八戸市
12/11 13:00～18:30	プログラム（仮題）・講師（敬称略）	
13:00～13:10	(10)	オリエンテーション 主催者あいさつ 研修のねらいと進め方 赤枠内は3地域共通のプログラム
13:10～13:30	(20)	解説1 地域観光案内人に期待される役割 ～「地域観光コンシェルジュ」育成ガイドから 講師：(株)JTB総合研究所 主任研究員 岩崎 比奈子
13:30～13:50	(20)	解説2 八戸からの学びのポイント 講師：(株)JTB総合研究所 岩崎 比奈子
13:50～15:20	(90)	ディスカッション ケーススタディ「広域観光拠点における域内連携の進め方」 進行：(株)JTB総合研究所 岩崎 比奈子
15:20～16:20	(60)	八戸での取り組み紹介 講師：(公社)八戸観光コンベンション協会 事務局次長 石塚 俊哉 同協会 地域観光案内人 ●● [総括解説](株)JTB総合研究所 岩崎 比奈子
17:00～18:30	(90)	交流会 ・次第：主催者あいさつ、地元からあいさつ、各県代表から一言、自由交流 ・進行は事務局 ※交流会は、研修会場でシンプルに行い（新幹線時刻に配慮）、宿泊者を対象に二次会を、市中心部の横丁で行うイメージ（「現地プログラム」の位置づけ）。
12/12 午前中で終了	プログラム（仮題）・講師（敬称略）	
7:00～8:30頃 ●～●頃	(90) (●)	プログラム 朝：「八戸あさぐる」(乗合だが、特別に講師やガイドが同乗する) 体験 日中：酒蔵見学(八戸酒造様、受け入れOK)

技術力共有化事業（その1 合同訓練の実施）

事業者単独では実施困難な大がかりな訓練等を効果的・効率的に実施するため、**鉄道事業者が連携した合同訓練等を開催して、技術力・安全性の向上**を図っています。平成26年度はIGRいわて銀河鉄道／好摩駅他・会津鉄道／会津田島駅他・JR貨物／盛岡貨物ターミナル駅において踏切人身事故対応、出発信号機故障、総合脱線復旧訓練等を実施しました。

現状における課題

1. 高度な技術的知見を有する技術講師の招聘や大がかりな訓練を各社が個別に実施するのは非効率。
2. 長期間・遠方での研修に社員を参加させるのは困難。
3. 社内の指導のみでは、幅広い知識・技術・視野を持った技術者の育成が困難。
4. 技術分野毎（土木、電気、車両、運転）に、高い専門性と最新の知見を有する技術者の育成が必要。

訓練等を連携して行うメリット

1. 大がかりな訓練や高度な知見を有する講師の招聘等を効果的・効果的に実施。
2. 研修会等のプログラム作成に各事業者のニーズを反映。
3. 他社の優秀な技術者によるチェック（例えば、A社の技術部長がB社を指導・助言）により技術の共有・向上。



9月18日//主催:IGRいわて銀河鉄道／好摩駅他

1. 参加事業者（7鉄道事業者等）
青い森鉄道、津軽鉄道、弘南鉄道、三陸鉄道、八戸臨海鉄道、秋田臨海鉄道、岩手開発鉄道 等
2. 訓練内容
踏切人身事故対応訓練、レール傷発見による列車抑止訓練 等
3. 開催場所
IGRいわて銀河鉄道／好摩駅 他



9月26日//主催:会津鉄道／会津田島駅他

1. 参加事業者（8鉄道事業者等）
三陸鉄道、仙台空港鉄道、仙台臨海鉄道、秋田内陸縦貫鉄道、由利高原鉄道、阿武隈急行、福島交通、福島臨海鉄道 等
2. 訓練内容
出発信号機故障時・ポイント不転時の取扱い訓練、列車退行訓練 等
3. 開催場所
会津鉄道/会津田島駅他



9月12日//主催:JR貨物／盛岡貨物ターミナル駅

1. 参加事業者（5鉄道事業者等）
IGRいわて銀河鉄道、青い森鉄道、八戸臨海鉄道、秋田臨海鉄道、仙台臨海鉄道 等
2. 訓練内容
運転士の異常時取扱い訓練、貨物列車運行における関係鉄道会社（旅客鉄道会社、第3セクター鉄道会社）との連携強化、検修員によるコンテナ貨車・電気機関車の載線訓練 等
3. 開催場所
JR貨物/盛岡貨物ターミナル駅



技術力共有化事業（その2 鉄道信号・通信研修など）

鉄道信号・通信研修

1. 事業概要

鉄道の安全運行に重要な転てつ機、踏切設備、継電連動装置の保守作業を現地実習等することで技術・知識を習得するとともに、各鉄道会社担当者が一堂に会し、ネットワークを構築することで広範囲での技術継承を行うことを目的に、1泊2日の合宿形式で学習。

2. 開催日時・場所・受講者

日 時：平成26年10月23～24日（1泊2日）

場 所：東日本電気エンジニアリング(株)仙台支店

受講者：23名（鉄道協会に加盟する17事業者）の鉄道技術者等

3. 研修内容

- （1）最近の電気事象事例、信号設備・通信設備概要、信号結線の基礎について受講
- （2）転てつ機、踏切設備、継電連動装置の現場実習 など

特に今回初めての開催となった鉄道信号・通信研修では、東日本電気エンジニアリング仙台支店のご協力により、1泊2日の合宿形式で行いました。現場実習では研修参加者から疑問点の活発な意見交換等が行われ、また、参加された信号・通信担当者の方々からは継続的な開催の要望が出されるなど好評を得たところです。



写真）講義風景



写真）踏切設備保守作業実習

弘南鉄道と福島交通の合同勉強会（その1）

1. 開催日時・場所

日時：平成26年9月5日

場所：弘南鉄道平賀駅構内

2. 事業者・参加者数

弘南鉄道、福島交通：4名参加

3. 研修内容

電車主制御器の点検方法について（主に電子回路）

三陸鉄道と岩手開発鉄道の合同勉強会（その2）

1. 開催日時・場所

日時：平成26年10月3日

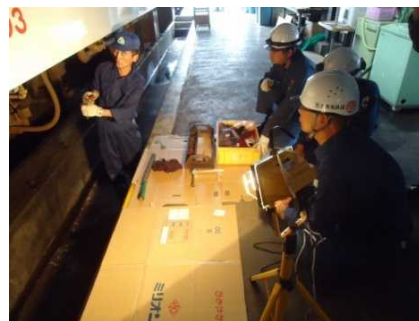
場所：三陸鉄道南リアス線運行部

2. 事業者・参加者数

三陸鉄道、岩手開発鉄道：7名参加

3. 研修内容

月検査での点検に関する注意事項（燃料系統）及び前面ガラス取替の作業方について



写真）月検査



写真）前面ガラス取替

技術力共有化事業（その3 鉄道技術・安全アドバイザーによる指導・助言など）

担当アドバイザー	相談等事業者及び相談・質問等内容	アドバイザーからの指導助言等
八戸臨海鉄道 佐藤 啓一	H26.8.29 岩手開発鉄道 ・機関車購入に当り注意する点について ・八戸臨海鉄道の機関車購入価格について ・A T S購入に当り検討した事項について ・機関車を見せて欲しい。	・A T S車上子を取り付けた価格を説明した。 ・H24.11.1発注で納期はH26.3.31であるが、いろいろと問題があり現車受け取りはH26.7.1となった。その後も手直しが必要でH26.12.15までに実施予定。 ・購入にあたってはコンセプトをはっきり示す必要がある。牽引定数、速度、線路の状態にあった構造とすること（最少曲線通過等）、検査作業修繕のやり易さ、部品の入手関係、事故時の復旧作業のやり易さ等。 ・機関車見学については何時でも対応可能。 ・H26.10.1機関車見学のため八戸臨海鉄道を岩手開発が訪問。車両制作時の設計打合せ時の内容を説明した。
八戸臨海鉄道 佐藤 啓一	H26.8.29 仙台臨海鉄道 ・陸前山王～仙台港間のタブレット閉塞装置の電源バッテリーを交換したが、その際、当該バッテリーは生産中止となり今後入手できない旨告げられた。3年後以降タブレット閉塞装置が使用できなくなる恐れがあるので、対応方教示願いたい。	・同一のバッテリーでなくとも、他に電源装置は確保できる可能性がある。T E M Sの技術者を知っているで紹介する。後日、T E M Sの技術担当部長に話をした結果、対処方法があるとの回答を得たので、その旨仙台臨海鉄道に伝え、今後は、T E M Sの技術者に直接電話で話するよう段取りをした。 ・10月上旬にT E M Sから仙台臨海鉄道に関係資料の提供がなされた。
八戸臨海鉄道 佐藤 啓一	H26.8.29 福島臨海鉄道 ・本社の移転に伴い、本線を短縮するので運転曲線図を作成しようと考えているが、どこに依頼をすればよいのか分からない。今までの運転曲線図は平成23年の震災津波で流出してしまった。	・アドバイザーで良ければ作成の手助けをする旨話をし、線路条件等の提示を求めた。その後、福島臨海鉄道から条件提示があったので、最高速度40km/hと45km/hの2種類を作成し、相談者に提供した。

参考)鉄道技術・安全アドバイザー

高度な技術力等を有する鉄道技術者を、軌道・構造物、電気、運転など技術分野毎に「鉄道技術・安全アドバイザー」として、協会加盟鉄道事業者からの相談に対し指導・助言等を行っていただいている。

技術力共有化事業（その4 部品や機器の共有、メンテナンスの受委託）

枯渇する鉄道部品・高価な検査機器の相互融通

現状における課題

1. 車両・設備等の老朽化の進展と交換用部品等の枯渇（調達に長期間を要する）。
2. 高価な検査測定器を個別に購入・保有するのは不経済・非効率。
3. 経営環境の悪化に伴う維持管理コストの削減。
4. 近隣他社の保有する検査測定機器・余剰部品の情報不足。

相互融通により、迅速で低コストな部品・機器の調達が可能

弘南鉄道と福島交通、由利高原鉄道と秋田内陸縦貫鉄道、山形鉄道と会津鉄道でそれぞれ部品・機器の譲渡

弘南鉄道から福島交通へ、デハ7000型増幅器5台を譲渡。

写真）増幅器→



由利高原鉄道から秋田内陸縦貫鉄道へ、ニイガタエンジン1基（YR1502）を譲渡。

写真）エンジン→



山形鉄道から会津鉄道へ、新潟原動機社製13HSエンジンの噴射ポンプ1台を譲渡。

写真）噴射ポンプ→



弘南鉄道から津軽鉄道への機器の貸与

弘南鉄道から津軽鉄道へ、踏切受信機1台を貸与。

写真）踏切受信機→



秋田内陸縦貫鉄道と由利高原鉄道間での機器の貸与

秋田内陸縦貫鉄道と由利高原鉄道での軸重測定器貸与（共同所有）。

写真）軸重測定器→



IGRいわて銀河鉄道から青い森鉄道への機器の貸与

IGRいわて銀河鉄道から青い森鉄道へ、701系用ハログンシールドビームランプ及びパッキン2個、701系用インバーターユニット1台（約2週間）、故障続出装置一式（PC、プリンタ等）（約2週間）を貸与。

写真）ハログンシールドビームランプ及びパッキン（左）、インバーターユニット（右）



三陸鉄道から岩手開発鉄道への機器の貸与

三陸鉄道から岩手開発鉄道へ、ATS-Ps特性試験機を貸与。

写真）特性試験機→



岩手開発鉄道へのメンテナンスの受委託

三陸鉄道では、月検査（定期検査に関する告示で定める状態・機能検査）12両・車輪削正・車軸探傷検査12軸を、秋田内陸縦貫鉄道では、過給器分解検査・エンジン分解検査を岩手開発鉄道に委託。



写真）車輪削正作業



写真）過給器



写真）エンジン分解検査

営業ノウハウの共有、連携！『相互送客事業』

相互送客事業のねらい

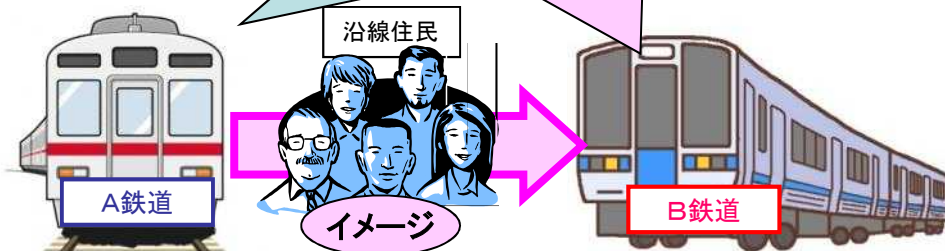
地方鉄道相互に連携しながら企画旅行を造成し、沿線住民等をお互いに送客しあうことで、訪問先の鉄道の先進的な取組を学び地元鉄道の活性化のアイデアに活かすとともに、訪問先の鉄道の利用促進にも貢献する**全国的にも珍しい『相互送客事業』を平成19年度から実施。**

送り出し側のメリット

訪問先の鉄道の先進的な取組を学び、地元鉄道の活性化

受け入れ側のメリット

県外からの誘客に加え、独自のおもてなしにより知名度向上、リピーター獲得



車内でのイベントや車両基地見学など普段の旅行では味わえない企画が満載！

平成26年度における相互送客事業実績一覧

主催会社	実施時期	訪問先	人数
由利高原鉄道	4/5～6	三陸鉄道	7名
秋田内陸縦貫鉄道	6/20	三陸鉄道	45名
八戸臨海鉄道	7/5	弘南鉄道	5名

事例1

由利高原鉄道から三陸鉄道へ

時期：平成26年4月5～6日（7名）

概要：三陸鉄道全線開通を記念し、イベントに参加するとともに記念乗車。



事例2

秋田内陸縦貫鉄道から三陸鉄道へ

時期：平成26年6月20日（45名）

概要：三陸鉄道貸切列車乗車及び三陸方面巡り、団体手配への提案が採用。

事例3

八戸臨海鉄道から弘南鉄道へ

時期：平成26年7月5日（5名）

概要：八戸臨海鉄道の社員及び社員の友人による田舎館の田んぼアート見学ツアー。



地域の活性化を図るための合同勉強会

1. 開催日時・場所

日時：平成26年8月20日、平成26年11月6日

場所：青い森鉄道本社

2. 事業者

IGRいわて銀河鉄道と青い森鉄道：6名（8/20）

IGRいわて銀河鉄道と青い森鉄道：4名（11/6）

3. 勉強会内容

- 8月20日、両社沿線地域の活性化を図るため、IGR・青い森鉄道とのコラボきっぷ「鉄道の日フリーきっぷ」作成のための検討会を行った。発売期間「10/11～19の土日祝」
- 11月6日、IGR・青い森鉄道とのコラボきっぷ「鉄道の日フリーきっぷ」が好評であったことから、12月～1月に「IGR・青い森鉄道フリーきっぷ」を発売するための検討会を行った。



「鉄道の日フリーきっぷ」のリーフレット(左)、きっぷ(右)

第5回トレインアテンダント・スキルアップ講座in東北

1. 開催日時

平成26年11月6日（木）

2. 開催場所

青森市「リンクモア平安閣市民ホール」

3. 主催者

東北鉄道協会

4. 主なプログラム

- (1) 各社の活動紹介について
- (2) 津軽半島観光アテンダント（NPO）の活動紹介
NPO法人津軽半島観光アテンダント推進協議会
代表理事 小枝 美知子氏
- (3) グループごとにテーマ別ワークショップ（発表）

※今回は、トレインアテンダントの自立を目指す観点からの講座を実施。

5. 受講者（9鉄道事業者21名）

津軽半島観光トレインアテンダント（津軽鉄道）、青い森鉄道アテンダント、三陸鉄道アテンダント、IGR地域医療ラインアテンダント、秋田内陸縦貫鉄道観光アテンダント、由利高原鉄道トレインアテンダント、山形鉄道総務部企画担当、会津鉄道トレインアテンダント、いすみ鉄道（千葉県）急行列車アテンダント



平成26年度の様子（リンクモア平安閣市民ホールで開催しました）